



## ◆今年度の陶磁器製食器の回収についてご協力のお願い◆

1 ページのとおり、今年度は4月 28 日(火)からスタートの予定ですが、臨時休館が長引いた場合は開館が可能になった日からになります。

下記の「なぜ？」をお読みいただき、ご協力をお願いいたします。

### 食器回収の「なぜ？」にお答えします

#### ◆なぜ？ その 1

どうして割れた食器でもいいの？



#### 答え

割れていても、欠けていても構わないのは、回収した食器を粉砕するからです。ただし、粉々になっている破片は、もともとの姿や用途を確認できないため、不燃ごみに出してください。破片の大きさがおおよそ 2 センチ以上の場合には、回収対象にしています。ケガをしないようにお持ちください。

#### ◆なぜ？ その 2

どうして汚れているとダメなの？どうせ粉にするんでしょ！



#### 答え

エコにこセンターで回収した陶磁器製食器は岐阜県土岐市の食器粉砕専用のプラントを設置している工場に食器原料として運び、砂状にします。

また、粉砕する時には、細かい網目(ふるい)を通すため、汚れ(ほこりを含む)は、この網目をふさいでしまう場合があります。資源化の効率が悪くなります。

ご自宅で洗って乾かしてお持ちください。長く食器棚の中にしまっていたり、箱に入れたままの新品の食器も必ず確認してからお持ちください。「その場で食事ができる」を合言葉に回収しています。汚れている食器はお持ち帰りいただいています。

なお、センターの水道を使用して洗浄することはできません。汚れがとれないものや対象外の食器は各市のルールに従って処分してください。

#### ◆なぜ？ その 3

どうして陶器なのに食器だけが対象なの？

#### 答え

エコにこセンターで回収した陶磁器製食器は原則として再び食器の原料になります。というより、もっともグレードの高い原料づくりを目指しています。食器は直接、人の口や食べ物が触れるため、衛生面で心配のない作り方をしています。

グレードの高い原料であれば、たとえ食器にならなくても用途はいろいろありますが、逆に、花瓶や灰皿、衛生陶器(便器など)などが入ってしまうと、食器の原料にすることはできません。

食器リサイクルは全国でも例の少ない事業です。私たちの地域が模範になるようにご協力をお願いいたします。



## ◆なぜ? その4

どうして三市(八王子市・町田市・多摩市)の人しか持ってきちゃいけないの?

### 答え

エコにこセンターは、三市の施設です。ごみや資源の回収は自分が住んでいる自治体のルールに沿って、その自治体の回収に出します。隣の市の分別方法が便利だからといって、自分が住んでいない市にごみや資源を出すことはできません。

## ◆なぜ? その5

どうしてリユース食器は20円均一なの?いろいろな種類や大きさがあるのに。



### 答え

エコにこセンターの食器回収はリサイクルをメインにした事業です。したがってどんなに高価なものであっても、持ち込まれた食器は原則としてすべて粉碎します。しかし、新品や同等の食器は持ち込んだ人、使いたい人の両方から要望があり、ランク付けすることなく、リユース食器として販売することにしました。

なお、リユースせず、持ち込んだ食器すべて(新品も含めて)をリサイクルしてほしいという方もいらっしゃいます。回収を担当するスタッフが新品等の食器を持参された場合「リユースしてもいいですか」と尋ねるようにしていますが、全量リサイクルを希望する場合にはぜひ一言、声がけをお願いします。

## ◆なぜ? その6

どうして毎回アンケートを書くの?



### 答え

エコにこセンターは、八王子市・町田市・多摩市で構成する多摩ニュータウン環境組合の施設です。そこで、どの市の方にどのくらい利用していただいているのかを知りたくて回収をはじめたときからほぼ同じ項目で調査しています。ご協力をよろしくお願いいたします。

## ◆なぜ? その7

回収した食器で作ったお皿やカップはどこで買えるの?

### 答え

回収した食器を原料の一部に使用した食器を「Re 食器」と呼んでいます。岐阜県東濃地方の美濃焼生産者が中心となって家庭で気軽に使用できるデザインの食器を作っています。

エコにこセンターでは、これら「Re 食器」の普及にも積極的に取り組んでいて、館内にコーナーをつくり、展示販売を行っています。

裏にエコマークがついていたり、回収食器の含有率を示す表示や「Re」のマークがあるものも多く、食事やお茶の時間の話題にさせていただけるととてもうれしいです。

また、「Re 陶土」を使った作陶体験として、こうさくの時間“陶芸”、親子陶芸体験教室の他、「おとなのための工作教室」では、講師の指導を受けながら豆皿などを作陶するプログラムもあります。「Re 陶土」は5kg単位で販売していますが、購入希望の場合は、量と来館日をお知らせください。



## 清掃工場だより 『清掃工場のしくみ』

みなさんの家から出された燃やせるごみは「可燃ごみピット」に集められ、その後「焼却炉」で燃やされます。

「焼却炉」はガスバーナー（都市ガス）で600℃まで昇温され、ここにごみを入れることにより焼却炉内部の温度は850℃～950℃位まで上がりごみを焼却します。その後、ガスバーナーは使用せず、ごみの持っているエネルギーだけで焼却を継続します。焼却炉の出口からは、800℃～900℃になった高温の排ガスが出ていき、この熱エネルギーを有効利用するものが「ボイラ」です。「ボイラ」では、蒸気を作り発電やお湯を沸かすエネルギーとして利用しています。また「ボイラ」を通った後の排ガスは、減温塔で急速に冷却することによりダイオキシン類の発生を防ぎ「集じん機」で有害物質が捕集されて「煙突」から出ていきます。この様に清掃工場はいくつもの機械によって成り立っています。

複雑な清掃工場を適正に維持管理していく為には、年に一回、大規模な設備の点検、補修を行います。令和元年度は、令和元年11月末より令和2年3月中旬にかけて機器の補修工事を実施しました。この工事により、毎年ごみ処理を続けることが出来ます。これからも、安全で開かれた清掃工場を目指し、維持管理を行っていききたいと思います。

\*\*\*\*\* 多摩ニュータウン環境組合多摩清掃工場

## ○センターからのお知らせをメールでお届けします

エコにこセンターでは、エコにこニュース、HP、ツイッターなどを通してイベントや講座などのお知らせを発信していますが、より多くの方たちに届けるため、希望の方に直接メールでお知らせをお送りすることにしました。

ご希望の方は必要事項を書いてメールを送ってください。

- ・ 件名→メール登録 ※必ず件名をつけてください。
- ・ 本文→名前(ニックネーム可)、住んでいる自治体名(八王子市在住など)

送信メールとは別のアドレスで受信したい場合は受信希望のアドレス

メールを受け取り後、登録確認メールをお送りします。ただし、休館日等により即日返信できない場合があります。1週間程度過ぎても返信が届かない場合はご連絡下さい。

申込先メールアドレス recycle@tama-seisokojo.or.jp

## ○ホームページに「つくってみよう」のページ誕生



外出自粛が続いている中、少し視点を変えて、家にいる時間を楽しく過ごしてみませんか。エコにこセンターのホームページに「つくってみよう」のページを作りました。左のねんちゃんのページです。子どもたちだけではなく、おとなのみなさんも家にある不用なものを使って気分転換に作ってみませんか。

なお、作り方レシピをプリントしてそのまま配布していただくのはかまいませんが、修正するなど加工しての二次使用はお断りします。

ホームページのURLは下記をご参照ください。

---

### 編集発行 多摩ニュータウン環境組合リサイクルセンター

ニックネーム エコにこセンター (10時～17時 月曜休館)

エコにこセンターは、八王子市・町田市・多摩市で構成する多摩ニュータウン環境組合の施設です。

センターの運営業務は特定非営利活動法人東京・多摩リサイクル市民連邦が受託しています。

TEL 042-374-6210 FAX 042-374-6214 206-0035 多摩市唐木田 2-1-1

メール recycle@tama-seisokojo.or.jp HP <https://www.tama-seisokojo.or.jp>

ツイッター「タマちゃん@エコにこセンター」 <https://twitter.com/econico1>

★このニュースは再生紙を使用しています★

